

日本の近代戯曲研修セミナー in 東京 第12回

郡虎彦&武者小路実篤を読む！

大正時代の文学運動を牽引した同人誌『白樺』。そこに集った文人たちは白樺派と呼ばれ、大正デモクラシーや第一次世界大戦の影響の中で、人道主義的・理想主義的な作品づくりをテーマとした。今回は白樺派から武者小路実篤と郡虎彦の二人を取り上げ、4作品のリーディング&シンポジウムを行う。

郡虎彦 (1890年 - 1924年)

東京府東京市京橋区南八丁堀生まれ。神戸で育ち、1902年、学習院中等学科に編入学。上級生の志賀直哉、武者小路実篤などと知り合い、最年少の同人として『白樺』に参加(萱野二十一の筆名を使う)。東京帝国大学文科英文科に入学。『幻想曲』『鉄輪(かなわ)』『腐敗すべからざる狂人』『清姫 若くは道成寺』(のちに『道成寺』に改作)などを立て続けに発表。1913年、大学中退、渡欧。1914年、第一次世界大戦の戦火を避け渡英。戯曲『鉄輪』『義朝記』を英文で刊行、劇場でも上演される。1924年、結核のためスイスのサナトリウムにて病死。

武者小路実篤 (1885年 - 1976年)

東京府東京市麹町区に生まれる。学習院初等科、同中等学科、同高等学科を経て、1906年(明治39年)に東京帝国大学哲学科社会学専修に入学、中退。1910年(明治43年)に志賀直哉らと文学雑誌『白樺』を創刊し、代表的作家として活躍。トルストイに傾倒。また人道主義の実践場として「新しき村」を建設した。太平洋戦争開戦後、日露戦争の時期とは態度を変え、戦争賛成の立場に転向、戦争協力を行った。1951年、文化勲章受章。代表作に、小説「お目出たき人」「幸福者」「友情」「真理先生」、戯曲「人間万歳」など。

研修の様子を見学できます。ご連絡ください。

リーディング&シンポジウム

2015年2月20日(金) / 会場: 中野テルブシコール(東京都中野区中野 3-49-15-1F)

2015年2月21日(土)、22日(日) / 会場: 芸能花伝舎(東京都新宿区西新宿 6-12-30)

料金: 各回 1000円(全席自由席) ※協会員は無料 ※チケットをご購入の方は、シンポジウムには両日参加可能です。

※受付開始、開場は開演の30分前です。※受付は開演の5分前までにお済ませください。5分前を過ぎますとご予約をいただいてもお席をご用意できない場合があります。

リーディング演出・出演

2月20日(金) 19:00~

「道成寺」 演出: 篠本賢一 出演: 池田ヒトシ、藤田三三三、小林拓生、中江翼、添田泰介、瀧野陽子
「二十八歳の耶穌」 演出: 広田豹 出演: 小野了、黒川逸郎、永野和宏

2月21日(土) 15:00~

「その妹」 演出: 山下由 出演: 加藤明美、公家義徳、シライケイタ、傍島ひとみ、陽野愛美、堀光太郎

2月22日(日) 15:00~

「義朝記」 演出: 青井陽治 出演: 石橋大将、越智正雄、加藤亮佑、北川能功、篠原久美子、篠本賢一、田中覚、千島芳彦、野溝さやか、御笠ノ忠次、村田晃一

問い合わせ

一般社団法人日本演出者協会(担当: 川口)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 3F

TEL: 03-5909-3074 携帯: 090-1016-7092

専用メールアドレス kindaigikyoku@yahoo.co.jp

アクセス

テルブシコール / 2月20日(金)

(東京都中野区中野 3-49-15-1F)



アクセス

芸能花伝舎 / 2月21日(土)、22日(日)

(東京都新宿区西新宿 6-12-30、東京メトロ「西新宿」駅より徒歩約6分、「新宿」駅西口より徒歩約歩約15分)

